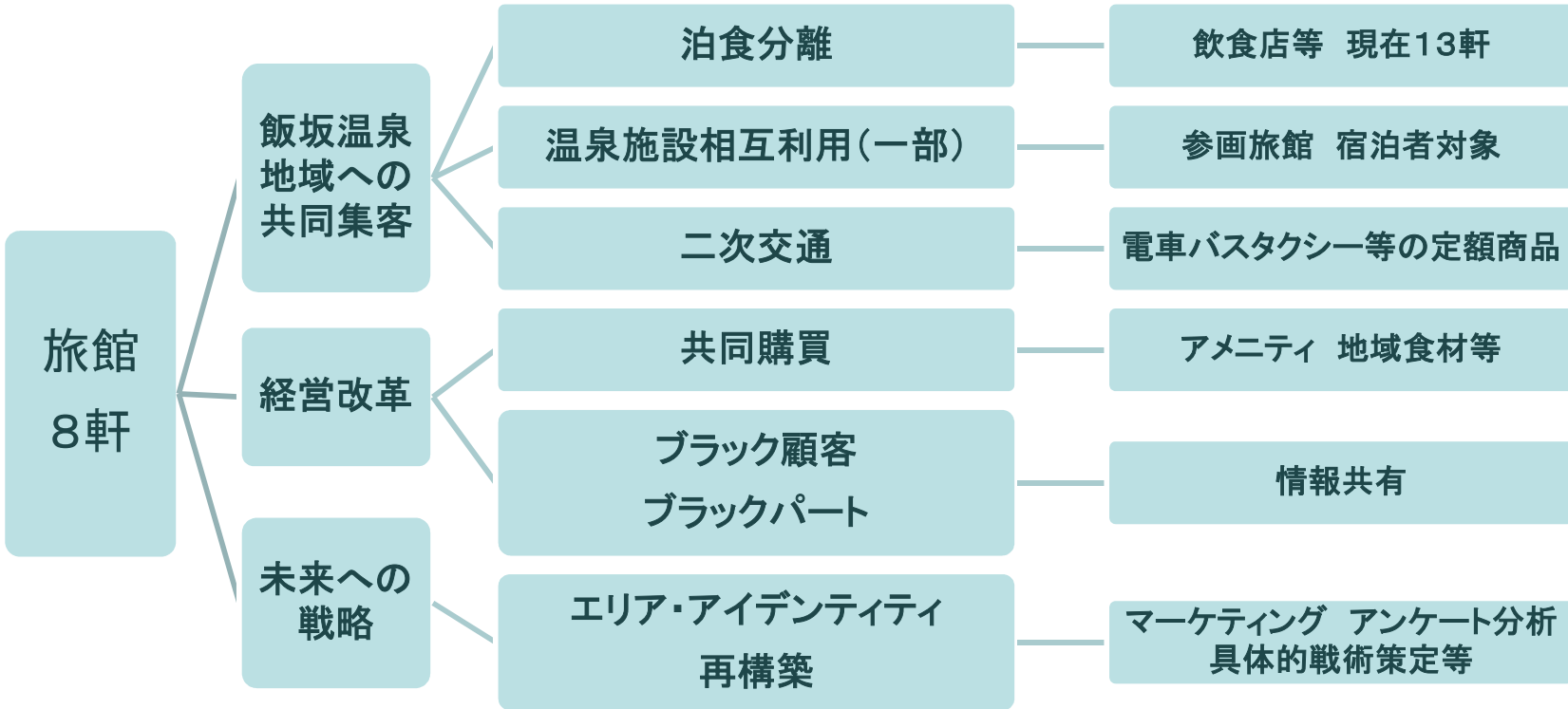


Fukushima 飯坂温泉 RE:BIRTH! ~平成の次の時代へ向けて~

【事業概要】

2020年その後への戦略策定
インバウンド⇒新需要創造 国内⇒内需向け新需要創造
顧客への付加価値サービスの充実とコスト削減への取組み
エリアマーケティングの確立

観光振興＝地域づくり
インバウンドを起点とした
Fukushima
飯坂温泉地域連携による
RE:BIRTH



旅館（8軒）+飲食店等（現在10軒）+特例通訳士+二次交通
行政（国・県・市） ALT(外国語指導助手)

マーケティング インバウンド関連アドバイザー等との連携

期飲食店+旅館での泊食分離モデル
期日限定⇒通年型へ

飯坂温泉「宿泊施設の地域連携推進事業」参画旅館等一覧

参画旅館

なかむらや旅館、ほりえや旅館
なかや旅館、祭屋湯左衛門
旅館 湯乃家、松島屋旅館
匠のこころ吉川屋、おきな旅館

8軒

連携 飲食店

保原屋食堂、絶好鳥、談妃留、万来
焼肉餃子ひたち、居酒屋十勝
居酒屋ようこ、BAR楽屋、夕花里、
Café ひらなが、Oncafé、栄楽茶寮
憂国のドン・キホーテ

13軒

5/8現在

飯坂温泉「宿泊施設の地域連携推進事業」スケジュール(予定)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議等		●事業参加者キックオフミーティング			●事業進捗全体会議・問題点等把握						●事業全体会議 今年度の事業報告・ 次年度に向けた検討
泊食分離		●宿泊施設、飲食店での内容検討		●紅葉シーズンに併せて事業実施							
			●宿泊施設、飲食店での泊食内容確定								
			●パンフ等への落とし込み・情報発信								
共同購買 地域の食材		●共同購買食材等の検討									
			●夏のフルーツの時期に併せて試行								
				●試行後の問題点を把握							
共同購買 アメニティ		●共同購買内容の検討	→								
二次交通		●二次交通との連携企画の検討			●二次交通との連携企画の試行						
通訳士等 の活用		●活用内容の検討			●7月のイベントで試行的実施						
					●夜の飲食プラン同行との組合せも検討						
マーケティ ング・アン ケート分析		●アンケート内容の検討									
			●参加施設等アンケート実施	→							●アンケート分析・ まとめ